

ほけんだより

令和5年度 10月号

運動会も終わり朝晩の気温は低く肌寒いですが、日中の子ども達は汗をかくほど元気いっぱい活動しています。気温差があり体調を崩しやすい時期ですので、お子さんの服装は健康状態や天候に合わせて調整出来るようにしてみましょう。また、着替えの洋服も長袖、長ズボンの補充をお願いします。合わせてフード付きや紐付きの上衣は事故につながる危険があります。室内で着る服はフードや紐の付いていない物で登園して下さい。

～～～8・9月の感染症情報～～～

8月：新型コロナウイルス・・・・・・・・・・1名（くじら組）
とびひ・・・・・・・・・・3名（ぺんぎん組 2名 らっこ組 1名）
水イボ・・・・・・・・・・1名（くじら組）
9月：新型コロナウイルス・・・・・・・・・・1名（らっこ組）

ヒトメタニューモウイルスとは

主な症状は？

- ・咳（多くは1週間程度続く） ・鼻水 ・息苦しさ、ゼイゼイ（ヒューヒュー）という呼吸
- ・熱（4～5日程度続きます。肺炎や気管支炎にもなり易いので熱が下がらなければ再度受診をしましょう。）

かかりやすい年齢は？

- ・2～3歳でかかる事が多いです。（70%は3歳までにかかるといわれています。）

診断は？

- ・インフルエンザと同じように鼻から綿棒を入れて調べます。

治療法は？

- ・特効薬はありません。ワクチンも開発されていないので治療は安静と症状に応じた対処療法です。良くなるのを待ちましょう。

このウイルスは保育園などで集団発生する事が知られています。指定感染症ではないですが、り患した場合は園に報告して下さい。ヒトメタニューモのウイルスは数種類あります。1度感染しても2～3回かかる場合があります。熱が下がって咳が治まり走り回って遊べるくらい体力が回復してから登園するのが望ましいです。



歯科健診のお知らせ



10月3日(火)に全園児対象の歯科健診を行いました。

今年度も東札幌にある『えばた歯科』の副院長先生が来て下さったの健診でした。全体的に虫歯の園児が少なく、歯もキレイでした。歯医者に慣れているのか泣く園児も殆どいませんでした。当日欠席した園児に対しての再健診は予定していません。



+ + 10月10日は目の愛護デー + + + + +

目の病気や感染症は、物を見る時の様子や充血・目ヤニなどでわかることがあります。いつもより、子どもの眼をよく観察するようにしてみませんか？

目ヤニや充血、涙目はカゼや感染症のサイン

子どもは涙が眼から鼻に流れる鼻涙管が狭いため、頻回に目ヤニが出ますが急に目ヤニが増えた、眼がいつもよりウルウルしている、寝起きに眼が開かない、眼を痒がる等、いつもと違う時は早めに受診しましょう。目の病気は細菌やウイルスによる感染症の場合と、視力など眼自体の機能的な病気の場合があります。どちらも軽いうちに見つけて治療することが大切です。

目ヤニや涙目がみられる病気の代表的なものを紹介します。

《結膜炎》

ウイルス性結膜炎は風邪に伴うものや、ウイルスが原因の感染症からくるものなどがあります。どちらの場合も受診し人にうつらないかどうかを確認して下さい。特に流行性角結膜炎(はやりめ)は感染力が強いので、目ヤニが出ている間は登園出来ません。また、アレルギー性結膜炎は痒みを伴うのが特徴です。原因物質(ダニやハウスダスト)を避ける事は難しいので、症状を緩和する薬を処方してもらいましょう。

《鼻涙管閉塞症》

新生児の6~20%にみられ、乳児の目のうるうる・目ヤニの原因になっています。鼻と眼は鼻涙管という管でつながっていますが、ここが生まれつき塞がっていたり、狭くなっていて涙がきちんと流れない疾患です。うるうるした状態が続くと視力に影響する恐れがあります。

《逆さまつ毛》

まつ毛が内側に向かって眼球に接触している状態。眼球の表面に小さな傷が出来易く、充血・目ヤニ・涙が多いのが特徴です。成長に伴って自然に治ることがありますが、眼科を定期的を受診して眼球に傷が無いかをみてもらうと良いでしょう。

